

国鉄 モハ40型 形式図

1932年から35年にかけて製造された近距離用電車

第一次グループはモハ42系に先立って初の関西国電として登場、また最初の20m級国電でもあった

同系列として片運転台モハ41をはじめクハ55、サロハ56、サハ57などがあり、一族合わせるとかなりの数に上って、戦前型国電の主流をなした

モハ40は比較的短期間に製造されたが、図はその80輛の内の1935年第二次型とよばれるタイプで、国電として初めて前面を半流線型としたもの
後年かなり改造されて変化が多い

